

紹介します！我が家の在宅療養 ～大川 ユキさん 110歳～

大川ユキさんは令和4年7月に110歳のお誕生日を迎えた市内最高齢の女性です。

現在、看護小規模多機能型居宅介護「いちごいちえ」のサービスを利用しながら、市内の自宅で長女の澄子さんと同居されています。今回、在宅療養のご様子について、澄子さんに伺いました。



母は1912年（明治45年）現在の茨城県ひたちなか市に生まれました。戦争や那珂湊の大火など大変なこともありましたが、いつも子どもたちを守ってくれた、優しい母です。

1995年に父が亡くなり、流山で一緒に暮らすことになりました。昔からひとつひとつのことに丁寧に向き合う人で、健康への意識も持っており、好き嫌いなく食べ、血圧の安定のために歩くなど、決めたことをしっかりと取り組んでいました。詩吟や洋裁など様々なことに取り組み、103歳からは市内の「高齢者ふれあいの家 えがお」で書道も楽しんでいました。「生きたい」という気持ちが強く、楽しみを持っていることも長寿の秘訣かもしれません。

令和4年5月に肺炎と皮膚に水疱ができる難病を患い入院をし、退院後も細やかなケアが必要な状況でした。その際に、自宅へ帰る前に「いちごいちえ」で2泊3日の宿泊をすることになり、自宅での介護に必要なことを習ったり、母の状態を見極めて、特性を活かした介護を提案していただいたりしたことが、「いちごいちえ」との関わりの始まりです。

現在は「いちごいちえ」で週に2回の宿泊サービスを利用しながら在宅生活を送っていますが、自宅だけだと単調になりがちな生活のリズムを整えることにもなっています。母の体力に合わせておいしく食事がとれるようにタイミングをみて下さるので栄養面も充実されますし、安全に入浴をさせていただいたり、健康面でも看護師のサポートがあったりといった丁寧なケアのおかげで、家族としても心配がありません。なにより母がイキイキとして帰ってくるので、サービスを利用しながらの在宅療養という方法を選択して、大正解だったと感じています。



いちごいちえは「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」を一体的に提供する介護保険の事業所です。サービスを利用しながら住み慣れた地域で「ずっとここで暮らしたい」利用者様、ご家族様の思いを大切にしたいと考えております。

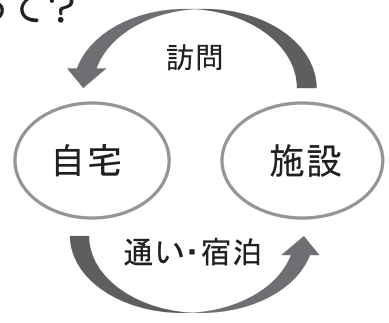
110歳の大川様は医療ケアのため入院しておりましたが、「家で過ごしてもらいたい」という娘様の強い希望がありました。退院をしてご自宅で生活をしながら医療ケアを継続する必要があったため、いちごいちえの利用を開始しました。娘様が、生きがいである趣味を楽しみながら、在宅介護を続けていくができるよう、お手伝いしたいと思っております。

（看護小規模多機能型居宅介護 いちごいちえ ケアマネジャー 根岸 ルミ子さん）

紹介します！在宅療養を支えるサービス ～小規模多機能型居宅介護 編～

小規模多機能型居宅介護って？

住み慣れた我が家での暮らしを続けられるように、小規模な住宅型施設への「通い」を中心に、自宅に来てもらう「訪問」、施設に「泊まる」サービスを、柔軟に受けられます。



▼小規模多機能ホーム ほのぼのかん丸 祐江さん

ほのぼのかんでは、ご自宅で一日でも長く自立した生活を送れるように、ご利用者様にはその方の能力に合わせて日常生活での役割を担っていただいております。

ご利用者様から職員に「助けてくれてわいわねえ。ありがとう！」という言葉がでるよりも、職員からご利用者様に「お手伝いありがとうございます！」ということが多くなることを目指して奮闘中です。

▼多機能ホーム春の苑 宮本 京さん

春の苑では、通いを中心に必要サービスを計画いたします。宿泊や、通院支援も対応しています。柔軟にサービスを組み合わせて、ご本人、ご家族をサポートできるようにご相談させていただきます。

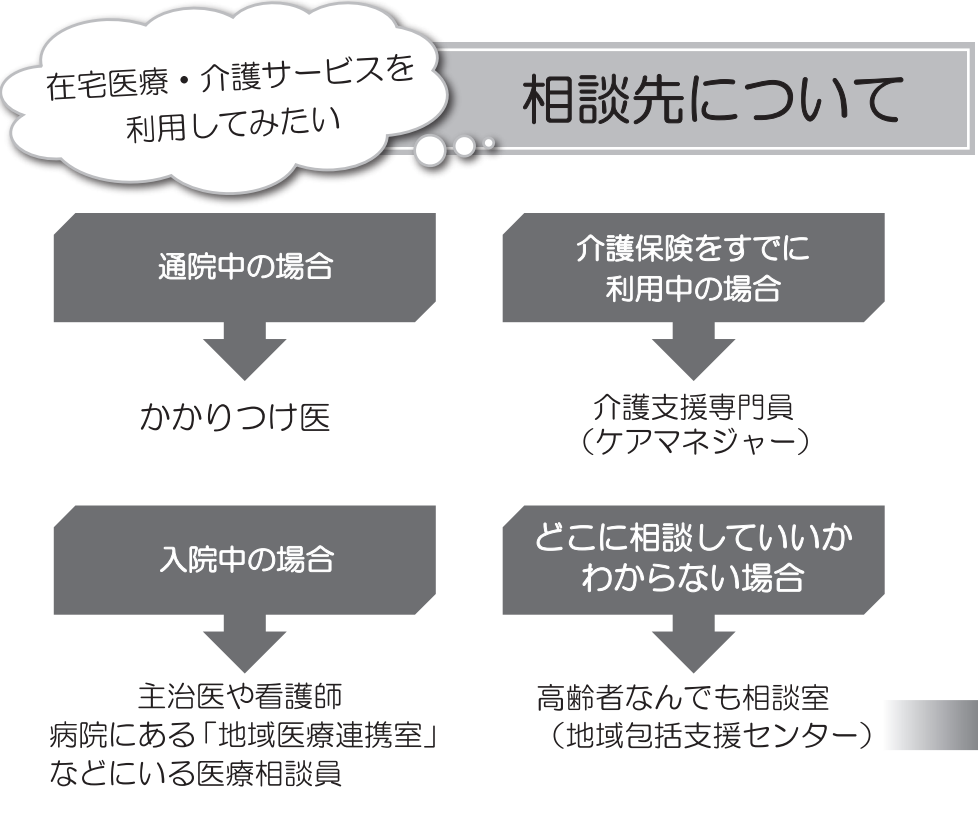
▼小規模多機能型居宅介護ソラスト流山 佐藤 真砂子さん

ソラストでは介護が必要になっても本人らしさをそのままに、自宅で穏やかにすごせるよう、支えるご家族にも寄り添いながら一緒に考えていくことを大切にしています。

認知症のあるお一人暮らしの93歳、地域の方の支援や温かい見守りもあり毎日お布団干しや、お買い物に行っています。訪問時には大変ねと気遣って温かいお茶を入れてくださったり、ソラストに来るとお茶碗洗いや洗濯物たたみのお手伝いをされています。私たちはこのような諸先輩方を見習い、その方がその方らしく生きられる社会を目指しています。

▼東京さくら福祉会 ひまわりの家 清水 竜太さん

『人を識る』解っているようで、解っていない…利用者さんの生活への想いを少しずつでも捉えて、かかわりを考え、私らしくを私自身で感じられるような居場所。そんな存在でありたい、近づきたいと、スタッフは日々模索しています。それぞれ歩んできた人生の最終章。新たな居場所で、新たなご縁、出会いやお別れ。抗えない老いのなかでも、今日の何気ない日常の一時、かかわりのなかで、スポットが当たる瞬間。そんな居場所の存在が、在宅生活を支える一翼を担うことに繋がればという想いで活動しています。



相談室の名称	学校区	連絡先
北部高齢者なんでも相談室 江戸川台東2-19 旧江戸川台出張所	東深井小学校区 江戸川台小学校区	TEL 04-7155-5366 FAX 04-7154-3207
北部西高齢者なんでも相談室 中野久木421 特別養護老人ホーム花のいろ内	西深井小学校区 新川小学校区	TEL 04-7197-1378 FAX 04-7197-1615
中部高齢者なんでも相談室 下花輪409-6 東葛病院付属診療所内	常盤松中学校区 西初石中学校区 おおぐろの森中学校区 おおたかの森中学校区の一部	TEL 04-7150-2953 FAX 04-7158-8419
東部高齢者なんでも相談室 野々下2-488-5 特別養護老人ホームあざみ苑内	東部中学校区 八木中学校区 おおたかの森中学校区の一部	TEL 04-7148-5665 FAX 04-7141-2280
南部高齢者なんでも相談室 平和台2-1-2 流山市ケアセンター2階	南部中学校区 南流山中学校区 おおたかの森中学校区の一部	TEL 04-7159-9981 FAX 04-7178-8555